

メダルウォッシャー

AQUA IV

取扱説明書



TOKEN CORPORATION

取り扱い説明書ご覧頂く前に次の事をお願い申し上げます。

- 1) まず、カスタマー登録を行いますので、添付されている保証書をご住所、店名、電話番号を記入の上必ずFAX下します様お願い致します。

FAX 0722-24-5003 (株)トーケン工場
現物修理等の送り先 → 住所 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野3-3-18

- 2) 本機器には漏電遮断付ブレーカースイッチがセットされている為、安全にご使用頂く為にも必ずアース線にてアースお取してください。

また、どうしてもアース取れない場合は 東芝漏電保護タップ LBY-120Cを購入ください。



以上の2点をお守り下さい。

不明な点等が御座いましたら トーケン各支店等にお問い合わせ下さい。

大阪支店 0722-232-0181

名古屋営業所 056-834-0590

福岡支店 092-606-1211

東京支店 03-3438-0698

または、下記アドレスにメールでも結構です

※部品交換手順書などメールにて配信できますのでご依頼ください！

大阪支店 osa@token-osaka.co.jp

名古屋営業所 ngy@token-osaka.co.jp

福岡支店 fuk@token-osaka.co.jp

東京支店 tky@token-osaka.co.jp

下記Web内の問合せでも可能です。

<http://www.token-osaka.co.jp>



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じること



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的

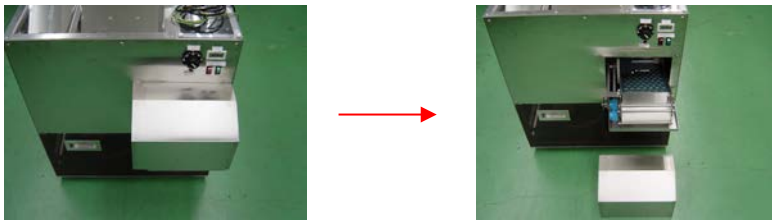
◎ 注意事項 ◎

- ◆機械の中には、メダル以外のものは入れないで下さい。
- ◆感電事故を防ぐ為に、濡れた手で操作パネルやスイッチ類に触れないで下さい。
- ◆点検・清掃等で手を入れる際には、必ず電源プラグを抜いて下さい。
- ◆感電事故を防ぐ為に、電源プラグ・機械の電気系統には、絶対に水分等をかけないで下さい。
- ◆電源プラグのホコリ・水滴等は、こまめに拭取って下さい。
- ◆不十分な電源プラグの差し込み・コード上への物の設置・コードの折り曲げ・ねじれは絶対に避けて下さい。
- ◆表示されている電源(100V)以外使用しないで下さい、指定以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
- ◆弊社の承諾なしに改造したり、弊社純正部品以外を使用されると品質保証できないことがあります。
- ◆万が一、電気的な故障によって機械が止まった場合は、直ちに、電源スイッチを切って下さい。

■サイズ	ワイド670mm×奥行580mm×高さ700mm(670mm)
■電圧	AC100VA
■電気容量	15Wモーター×3+ポンプ50W/78W+ヒーター1000W+ファン15W 合計1110W/1138W
■洗浄基準液	水&お湯 切り替え自由
■乾燥方式	吸水スポンジ2本装着
■メダルサイズ	外径20～40φ 厚み1.0～4.0mm
■処理能力	25φコインで1時間約40,000枚
■ホッパー容量	25φコインで約20,000枚(※オプションにて増設枠100ミリあり)
■コイン出口高さ	最下部から35cm(※オプションにて嵩上げ台100ミリあり)

(A) ご使用前の準備

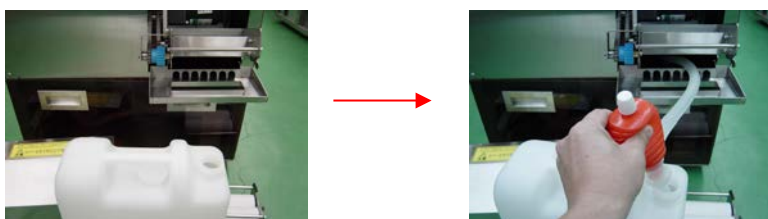
- ① 両サイドの白いネジを外し、本体前面のコンベアカバーを外す



- ② 硬くなっている吸水ユニットをはずし、お水で軟らかくする



- ③ 水槽に水を入れる(コンベア下部ドレン板より注入する)



水量は約 10ℓ～12ℓ

付属ポリ容器10ℓ
水注入ポンプ

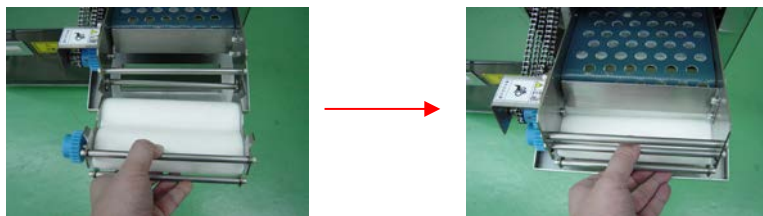
- ④ 水量の確認



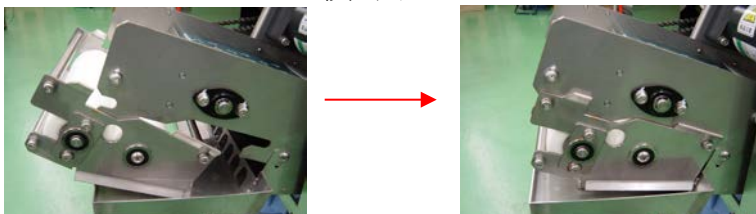
本体下の水量計を確認ください。

赤ラインの所まで入れる(少し多めでもOKです。)

- ⑤ 軟らかくなった吸水ユニットを本体にセット



横 図



- ⑥ ①のカバー取り付けで準備完了

(B) 運 転 操 作

- ① 本体下部にある電源スイッチをONにする



スイッチ下の状態OFF

スイッチ上の状態ON

- ② ヒータースイッチ(赤色)をONする



※ ヒーターONでお水をお湯にします。(時間が掛かります)10リッターで約1.5時間
※ お水でのご使用はOFFにて御使用下さい。

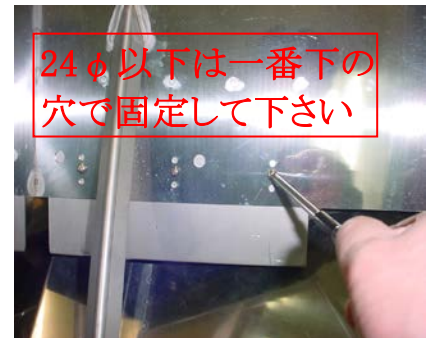
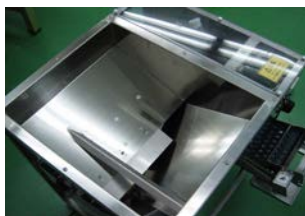
- ③ 温度調節ダイヤルをセット(低温洗浄機なので水温は35℃～45℃ぐらいです。)



注意
ダイヤル設定温度と洗浄温度は異なります。
運転時には水温が下がります。
(停止時約45℃位)
(運転時約32℃～40℃位)

※ ダイヤルは45℃位までの位置設定でご使用ください！ (設定はあくまでも目安です)

- ④ ホッパーにコインを投入する



- ⑤ 運転スイッチ(緑色)をONで洗浄開始になります



ランプ消灯OFF

ランプ点灯ON

以上で洗浄が始まります

温度調節ダイヤルの設定解説

赤い矢印に設定したい温度をダイヤルで設定



通常は45℃までの設定で使用ください。



(C) 洗浄液の投入

- ① 専用の容器に洗浄液を移してください



- ② コンベアカバーを外して水切り板の所より1メモリ分を入れてください



※ 注入の際は運転しないでください

お水の交換時期はフィルターの汚れ具合によって異なりますので
状況に応じて交換を行って下さい。

(D) 水槽の水交換(電源を切って行って下さい)

- ① 水槽の水を抜く(本体下にある排水ホースから水を抜く)

※ ホースのキャップを外すと排水されます。
※ 室内での排水は図のような洗面器等で数回に分けて行ってください。

ポリ容器使用時の場合
(3回～4回に分けて行う)
※ 入れ過ぎ注意



洗面器等使用時



水が出なくなったら排水完了ホースにキャップをして元に戻して下さい。

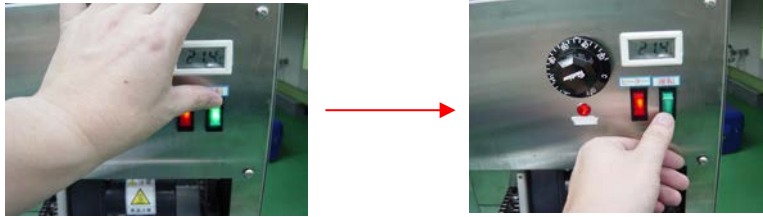
※**要注意**※ ホースには必ずキャップ(栓)を入れてください
入れてないとポンプに空気が入り水が上がりません

- ② 最初の(A)ご使用前の準備を行い交換完了

注意 一度作動してみてホース等にたくさん空気が入っている場合は(G)の空気
抜き作業を行ってください。

(E) 洗浄作業の終了

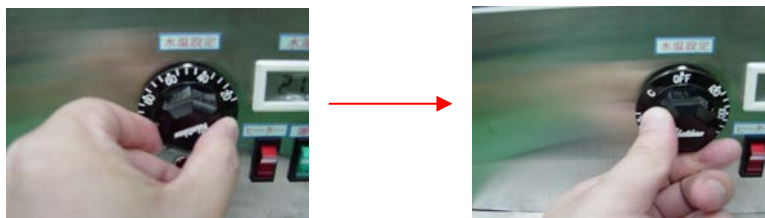
- ① 運転スイッチ（緑色）を**OFF**で洗浄が停止します



- ② ヒータースイッチ（赤色）を**OFF**でヒーターが切れます



- ③ 温度調節ダイヤルを**OFF**にします



- ④ 水温が十分下がるまで本体下部の電源は切らないで下さい
換気ファンのみ作動しています

- ⑤ 水温計が30℃以下になっていたら本体下部の電源を切ってファンが
停止し全ての作業が完了



要注意 本体上部のアクリルカバーが曇るようでしたら電源を切らずに換気ファンのみ作動させるか、または上部アクリルカバーを外しておいて下さい

※ 結露に注意（漏電する可能性があります）
結露がひどい時は上部のアクリルカバーと下部アクリルカバー
を外した状態で放置下さい！

以上で作業が完了です

フィルター交換の時期は通常一ヶ月位ですがメダル等の汚れの状態が変わります。
目安としてフィルターの繊維が見えない状態が交換時期になります。

(F) フィルターの交換(電源を切って行って下さい)

① (D)の水槽の水交換①の作業を行ってください

② フィルターハウジングのホースを外す。



左ホースのバンドを外しホースを外す。



右ホースのバンドを外しホースを外す。

※ 若干水が出ますのでご注意ください

③ ハウジングを外し中のフィルターを交換



上蓋を左(反時計方向)に回して外す。



中身を新しい物に交換して元にもどす。

④ 再度、(A)ご使用前の準備を行ってください

以上で交換終了

注意 一度作動してみてホース等にたくさん空気が入っている場合は(G)の空気抜き作業を行ってください。

(G) フィルターの空気抜き



(空気が半分以上入っている)



(水が入らず空気が入っている)

上記の場合ポンプに水が行かず洗浄が出来ない事が有るので空気抜き作業を行う。

左のホースハントを緩める



ハントをずらす



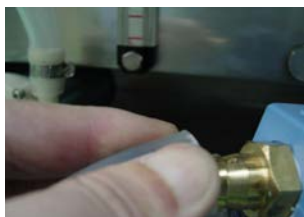
ホースをずらす



ホースの口を摘んで空気を抜く



拡大



水が一杯になったらOK



ハントを止めて終了



一度動かしてみても空気が抜けていればOKです。
空気が抜けていない場合は再度、空気抜きを行う。

(H) 日常でのメンテナンス及び注意事項

基本的にお水の補充と洗浄液の補充位で他にはありません。

- 注意①** 日常での使用でお水(お湯)は、必ず減りますので減った分を補充をして下さい。
- 注意②** 洗剤は通常お水の入替え又は、減った分の補充の時にに入れて下さい。
- 注意③** 洗剤は必ず決まった分量だけにして下さい。(泡が出すぎます)
泡が出すぎてしまったら、お水の交換又は**当機専用消泡剤**をご使用ください。
- 注意④** お湯の設定温度を**50℃以上**にしないで下さい**ヒーターの故障**につながります。
- 注意⑤** 吸水スポンジが硬くなっている場合は**必ず柔らかくして**御使用下さい。
- 注意⑥** 必ず説明書に沿った操作で作業を行ってください。
- 注意⑦** 水温計が消えた時は電池がなくなっていないか(水温計の本体裏側に交換口がある)
電池:LR-44

(故障と思う前に)

チェック項目

水が上がらない

- ・ホース&フィルターに空気が沢山入っていないか？
- ・フィルターが汚れで詰っていないか？
- ・排水ホースの栓はしっかりと収まっているか？
- ・ホースが途中で折れていないか？

コインが出てこない

- ・コンベア上でコイン詰っていないか？
- ・ホッパーでフリッジを起していないか？
- ・ホッパーウレタン羽根が折れていないか？
- ・吸水スポンジは柔らかくなっているか？

お湯にならない

- ・水切れランプが点灯していないか？
- ・必要量お水が十分入っているか？(約10ℓ)
- ・温度設定ダイヤルがOFFになっていないか？
- ・ヒータースイッチはONにしているか？
- ・フロートスイッチが上がっているか？

温度計の表示がない

- ・電池切れ (交換電池 LR44を使用下さい)

本機概要説明

本体全体

ホッパータンク



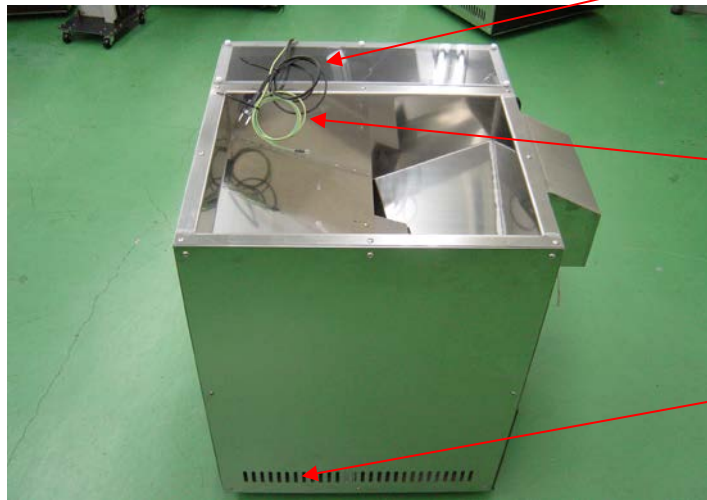
上部アクリルカバー

運転操作部

下部アクリルカバー

コンベアカバー

電源コード



アース線

下部換気口

コイン吐出し量調節板
※通常は一番伸ばして下さい



換気用ファン

操作部

水温調節ダイヤル

水温計 (交換電池 LR44又はSR44)



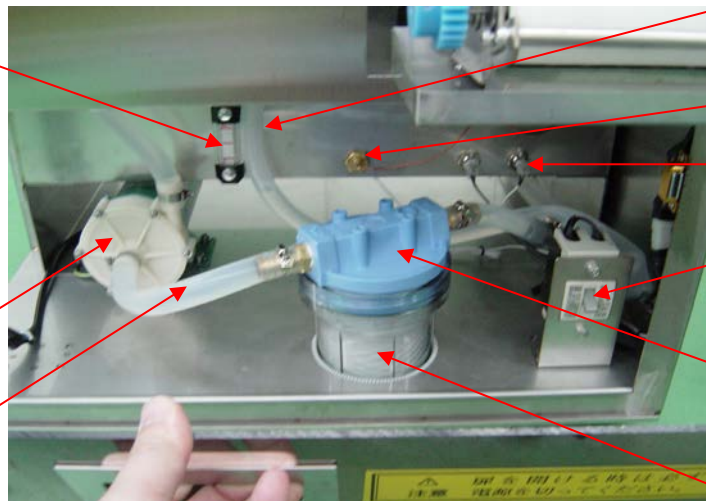
運転スイッチ

ヒータースイッチ

水切れランプ

下部

水量計



排水用ホース

温調用センサー

ヒーター800W

電源スイッチ
(漏電用ブレーカー)

フィルターハウジング

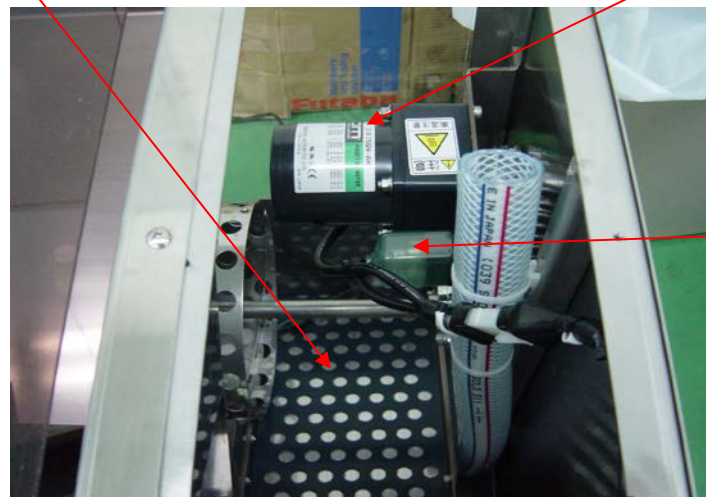
内部フィルター

洗浄ポンプ

耐熱ホース

コンヘア面

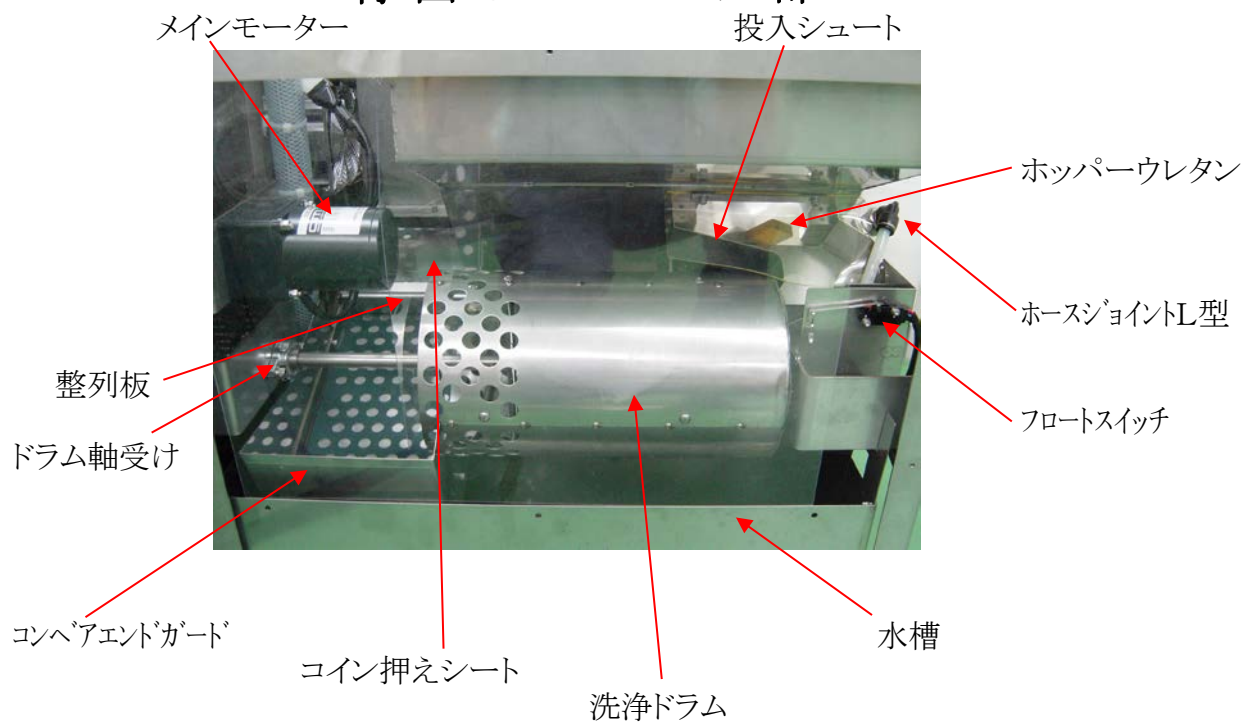
コンヘア穴あきベルト



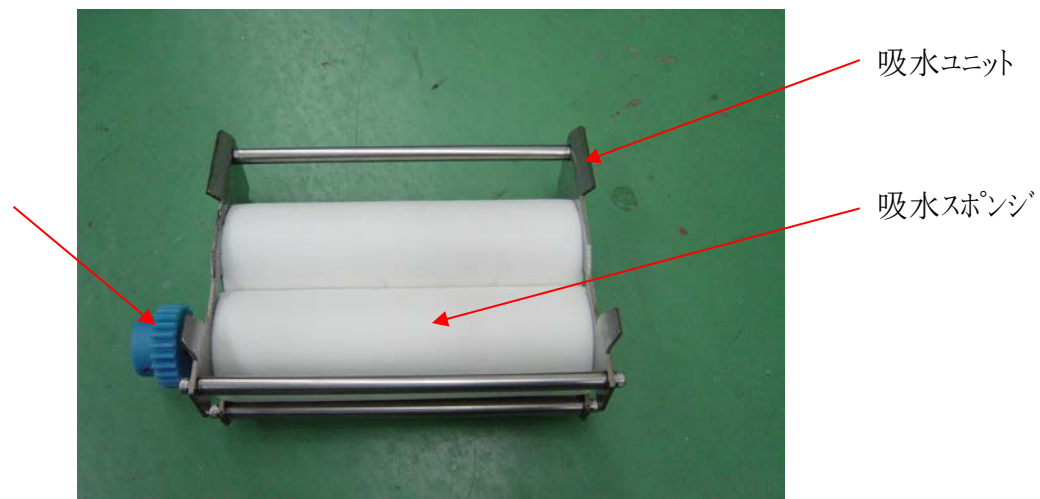
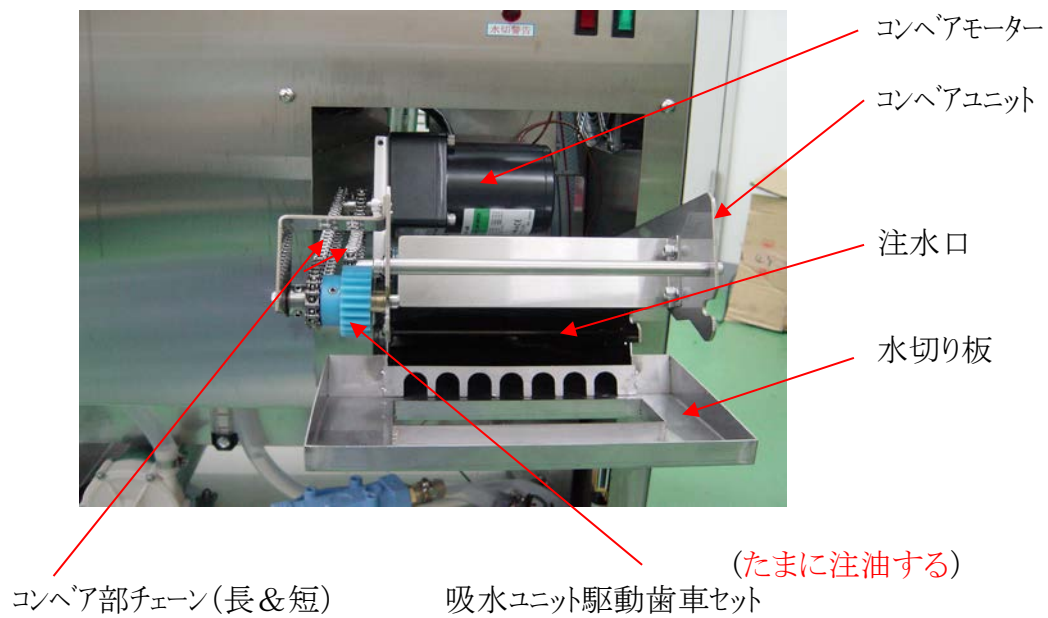
メインモーター

コンデンサー

背面 & コンベア部



吸水部



AQUA IV型 温度計電池交換 手順説明書

① コイン等で温度計裏側のキャップを外す



② 左に回す



③ 両面テープ又はガムテープ等を使って貼り付けて電池をぬく



④ 新しい電池 (LR-44)を入れる



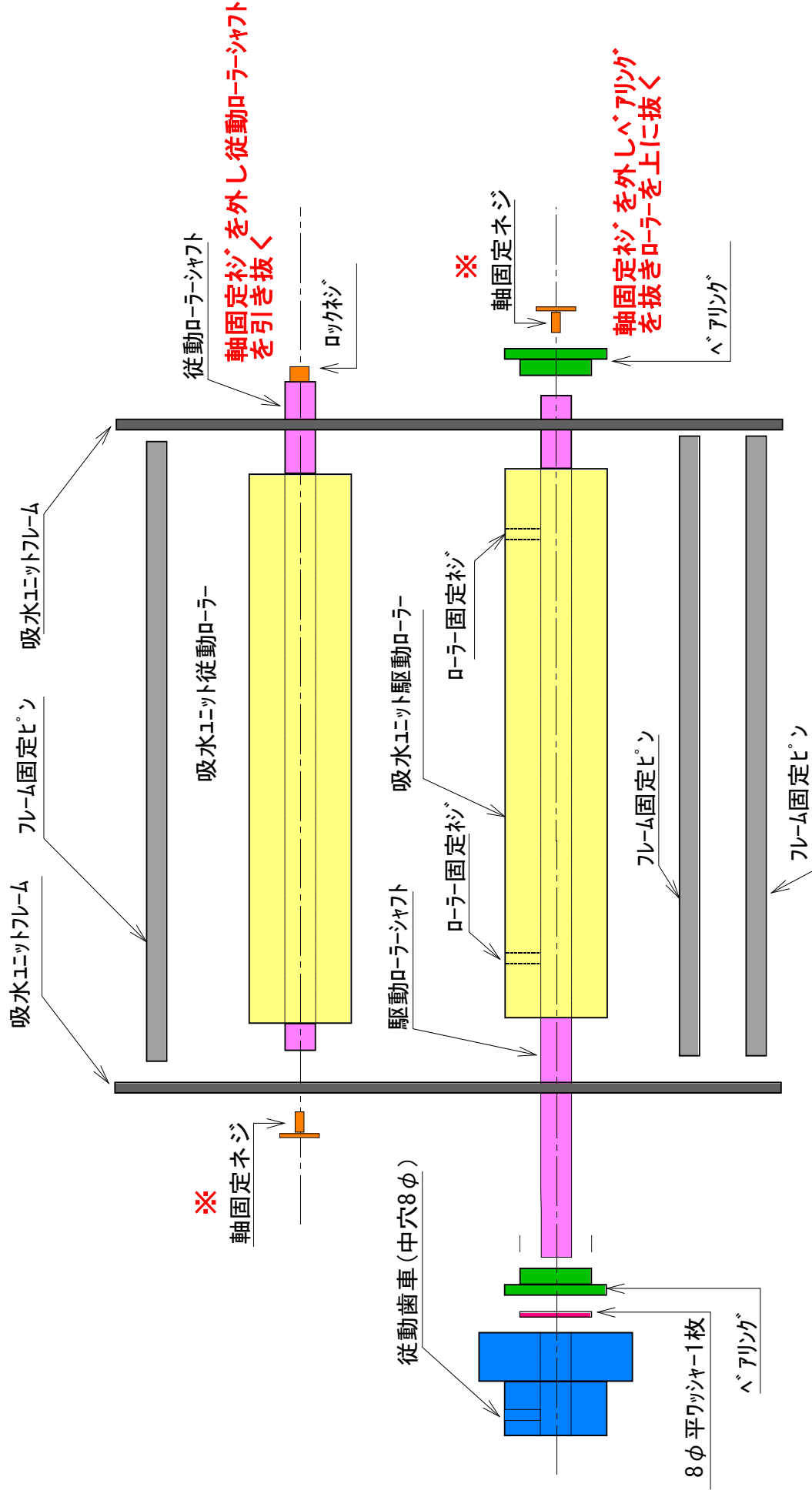
⑤ キャップを入れロックする



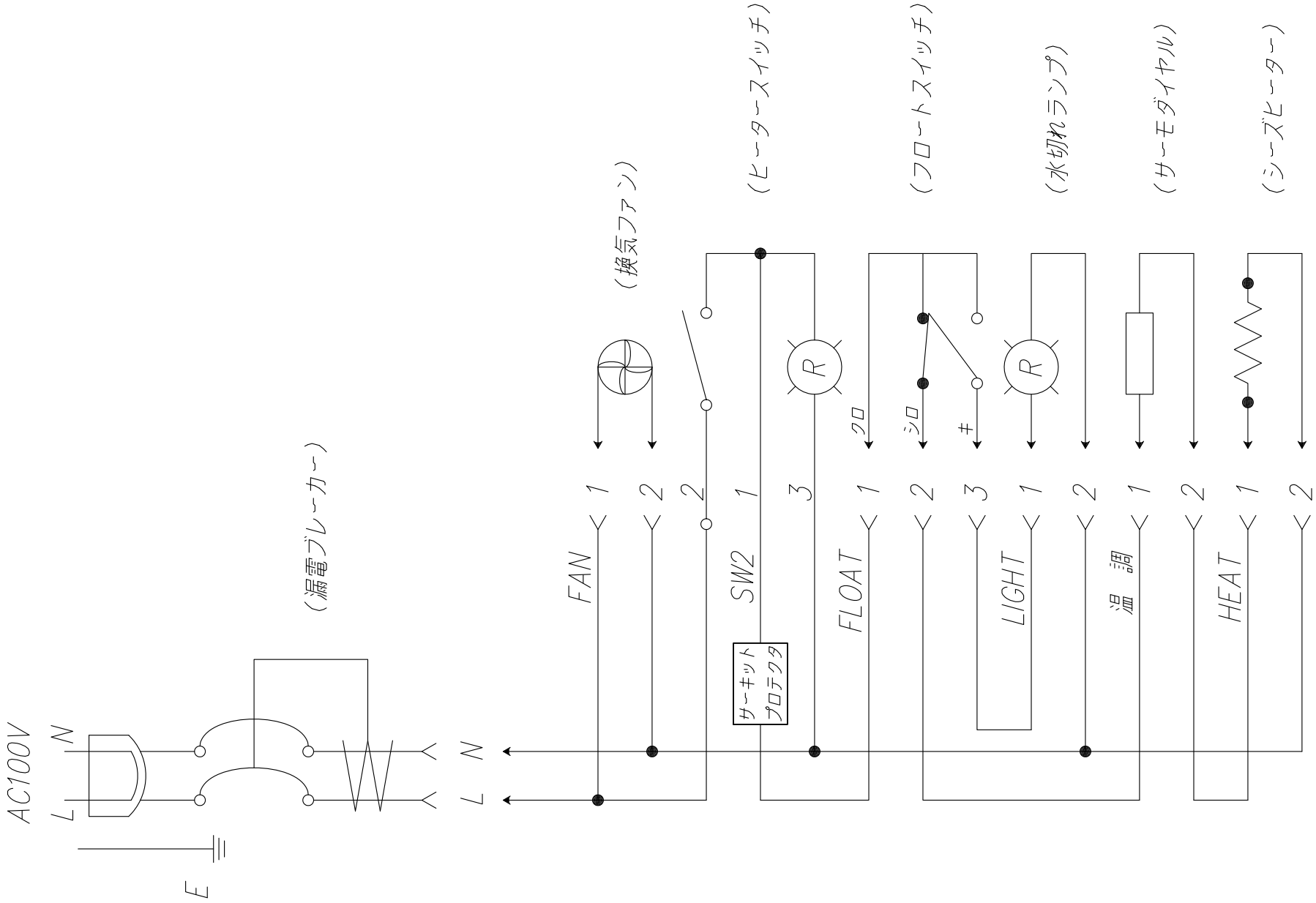
完了

図解 ニュートン型吸気水

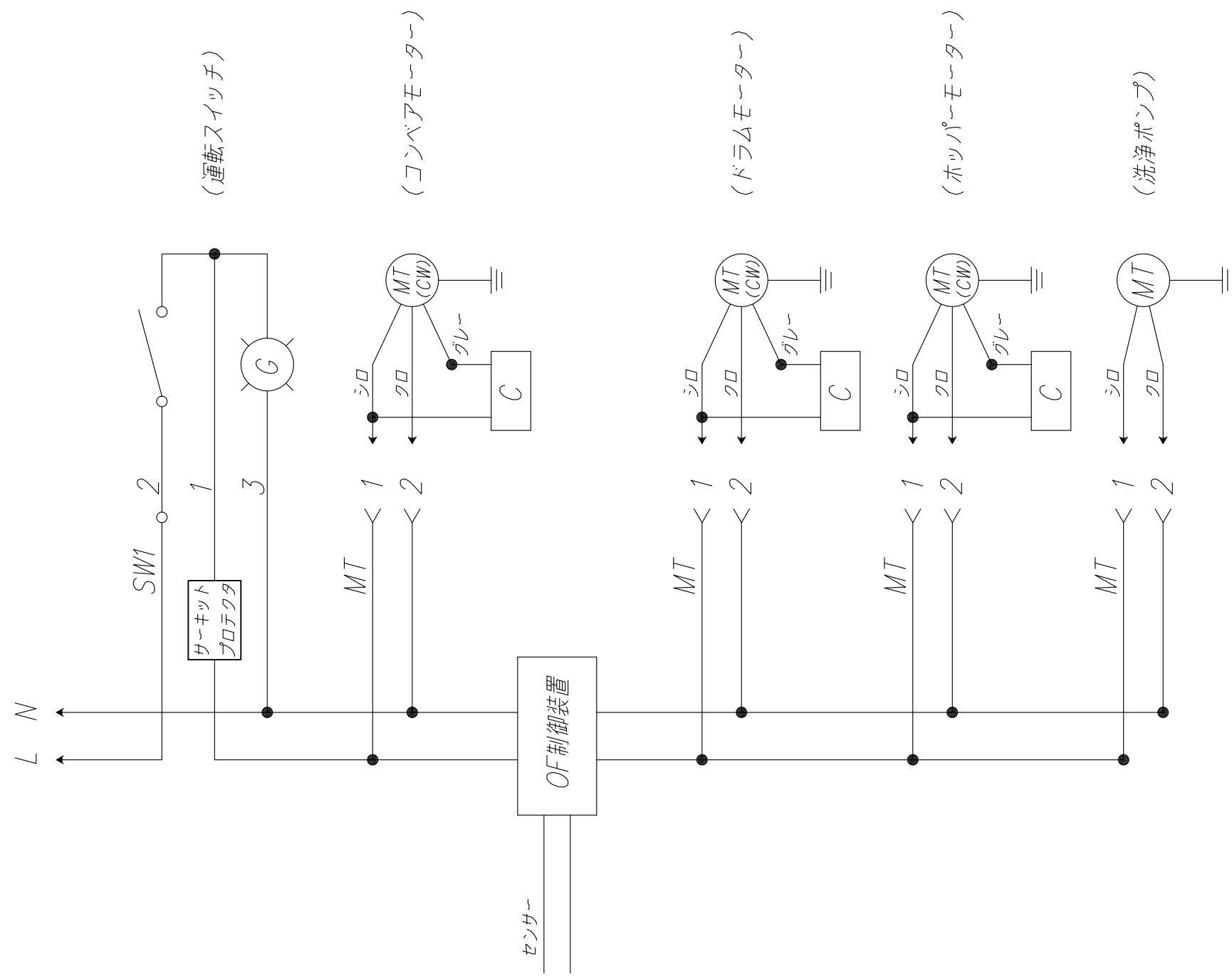
(前)



(後ろ)



ヒーター部回路図



モーター部回路図